



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場会社名 株式会社マクニカ 上場取引所 東
 コード番号 7631 URL http://www.macnica.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 潔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐野 繁行 (TEL) 045-470-9870
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	58,551	16.2	2,125	28.1	3,144	87.1	2,104	83.3
25年3月期第1四半期	50,375	6.7	1,659	△5.0	1,680	11.6	1,148	30.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,370百万円(140.5%) 25年3月期第1四半期 1,401百万円(94.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	118.87	118.71
25年3月期第1四半期	64.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	129,564	70,098	53.0
25年3月期	115,315	67,186	57.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 68,704百万円 25年3月期 65,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,000	15.8	3,900	21.1	5,000	52.5	3,360	58.8	189.80
通期	224,100	14.1	7,630	32.8	8,600	51.2	5,550	65.7	313.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	18,110,252株	25年3月期	18,110,252株
26年3月期1Q	407,302株	25年3月期	407,215株
26年3月期1Q	17,703,015株	25年3月期1Q	17,703,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国景気の回復や円安などを背景に、輸出は回復傾向となりました。また、海外需要の持ち直しや、緊急経済対策効果、エコカー補助金終了後の自動車販売の回復などに伴い、生産活動も改善がみられました。一方で、企業の景況感は改善しつつあるものの、依然慎重姿勢は堅持していることから、設備投資は本格回復には至りませんでした。また、所得環境の改善には至っていないものの、一部株高による資産効果があったことなどから、個人消費は堅調に推移しました。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、スマートフォンの拡大が持続しました。コンピュータ市場は、タブレットPCを始めとするモバイル端末への需要シフトが加速し、従来型PCの需要は依然厳しい状況が続きました。民生機器市場は、コンパクト・デジタル・スチル・カメラがスマートフォンの台頭に伴い、引き続き低調に推移しました。一方で、車載市場は、米国の景気回復や国内のエコカー補助金制度終了後の反動減が終息したことから堅調に推移しました。産業機器市場は、輸出環境の改善、生産活動の回復などを受けて、半導体製造装置を始めとした装置系の受注が改善し、全体的に回復傾向となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は58,551百万円（前年同四半期比16.2%増）、営業利益は2,125百万円（前年同四半期比28.1%増）、また経常利益は3,144百万円（前年同四半期比87.1%増）、四半期純利益は2,104百万円（前年同四半期比83.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(集積回路及び電子デバイスその他事業)

当事業におきましては、スマートフォンの需要拡大により、同端末向けASSPが引き続き好調に推移し、また、それに伴った設備増強により、LTE基地局や伝送装置などの通信インフラ市場向けPLDやASSPが好調に推移しました。コンピュータ市場は、液晶パネル向けなどの既存ビジネスの終息により低調に推移しました。民生機器市場は、デジタル・スチル・カメラ向けが一部生産調整の影響を受け減少したものの、新規ビジネスの立ち上がりにより、全体としては堅調に推移しました。車載市場は、北米を中心とした需要の回復により、アナログICなどが好調に推移しました。産業機器市場は、海外経済の減速を起因とした在庫調整が一巡し、同市場向けPLD、アナログICなどが好調に推移しました。これらの結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は54,524百万円（前年同四半期比17.4%増）、営業利益は1,795百万円（前年同四半期比50.8%増）となりました。

(ネットワーク事業)

当事業におきましては、スマートフォン市場の拡大によるキャリア向け通信ボードは需要の一巡により減少したものの、キャリア向け通信機器は引き続き堅調に推移しました。また、標的型攻撃を始めとしたセキュリティ関連機器や企業向けセキュリティソフトウェアなども堅調に推移しました。これらの結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は4,029百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は356百万円（前年同四半期比30.3%減）となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14,248百万円増加して、純資産は2,911百万円増加し、自己資本比率は53.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況に関しましては、売上債権及びたな卸資産の増加等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益3,140百万円及び仕入債務の増加等の増加要因があったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは2,594百万円の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出等により、275百万円の減少となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払を行ったことにより、350百万円の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ2,077百万円増加し、また新規連結に伴う増加額1百万円を加えることにより、19,167百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の属するエレクトロニクス業界は、スマートフォン市場の増勢、通信インフラ市場における設備投資の拡大、また、車載及び産業機器市場は輸出環境の改善や在庫調整の一巡化などを背景に、全体的に回復傾向にあり、当社の第1四半期連結累計期間における業績も好調に推移しました。これら事業環境を踏まえた結果、平成26年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想および平成26年3月期の通期業績予想を修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,088	19,167
受取手形及び売掛金	37,904	44,896
商品	37,686	43,046
その他	8,521	8,258
貸倒引当金	△118	△127
流動資産合計	101,083	115,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,536	2,545
機械装置及び運搬具(純額)	17	17
土地	3,557	3,557
その他(純額)	1,385	1,406
有形固定資産合計	7,497	7,526
無形固定資産		
のれん	1,312	1,255
その他	863	842
無形固定資産合計	2,175	2,097
投資その他の資産		
投資有価証券	2,670	2,715
その他	1,965	2,053
貸倒引当金	△77	△70
投資その他の資産合計	4,559	4,698
固定資産合計	14,232	14,321
資産合計	115,315	129,564
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,185	31,121
短期借入金	4,500	4,500
未払法人税等	1,129	1,116
賞与引当金	1,181	933
その他	9,568	11,083
流動負債合計	37,565	48,753
固定負債		
長期借入金	6,418	6,487
退職給付引当金	3,022	3,079
役員退職慰労引当金	440	444
その他	683	700
固定負債合計	10,563	10,711
負債合計	48,129	59,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,194	11,194
資本剰余金	19,476	19,476
利益剰余金	35,765	37,453
自己株式	△1,090	△1,090
株主資本合計	65,346	67,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192	302
繰延ヘッジ損益	△622	△408
為替換算調整勘定	903	1,776
その他の包括利益累計額合計	473	1,670
新株予約権	92	92
少数株主持分	1,274	1,301
純資産合計	67,186	70,098
負債純資産合計	115,315	129,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	50,375	58,551
売上原価	43,296	50,210
売上総利益	7,078	8,341
販売費及び一般管理費	5,418	6,215
営業利益	1,659	2,125
営業外収益		
受取利息	13	8
為替差益	57	1,050
その他	30	37
営業外収益合計	101	1,096
営業外費用		
支払利息	18	20
債権譲渡損	47	38
その他	14	19
営業外費用合計	80	77
経常利益	1,680	3,144
特別利益		
投資有価証券売却益	176	—
特別利益合計	176	—
特別損失		
固定資産除却損	0	3
その他	41	—
特別損失合計	42	3
税金等調整前四半期純利益	1,814	3,140
法人税、住民税及び事業税	638	1,026
法人税等合計	638	1,026
少数株主損益調整前四半期純利益	1,176	2,114
少数株主利益	28	10
四半期純利益	1,148	2,104

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,176	2,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	478	110
繰延ヘッジ損益	350	213
為替換算調整勘定	△604	931
その他の包括利益合計	224	1,255
四半期包括利益	1,401	3,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,426	3,301
少数株主に係る四半期包括利益	△24	69

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,814	3,140
減価償却費	287	260
受取利息及び受取配当金	△13	△15
支払利息	18	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△816	△6,446
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,074	△4,483
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,717	8,864
その他	△2,918	2,083
小計	△2,984	3,423
利息及び配当金の受取額	10	15
利息の支払額	△17	△11
法人税等の支払額	△966	△833
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,957	2,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△714	△1,726
貸付金の回収による収入	586	1,761
有形固定資産の取得による支出	△227	△167
無形固定資産の取得による支出	△30	△184
投資有価証券の売却による収入	15	19
関係会社株式の取得による支出	△24	△0
その他	240	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△338	△339
その他	△1,983	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	△350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△260	109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,695	2,077
現金及び現金同等物の期首残高	24,222	17,089
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,526	19,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,461	3,913	50,375	—	50,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4	4	—	4
計	46,461	3,918	50,380	—	50,380
セグメント利益	1,190	510	1,701	—	1,701

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,524	4,027	58,551	—	58,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	—	1
計	54,524	4,029	58,553	—	58,553
セグメント利益	1,795	356	2,151	—	2,151

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,701
セグメント間取引消去	46
全社費用(注)	△88
四半期連結損益計算書の営業利益	1,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,151
セグメント間取引消去	48
全社費用(注)	△74
四半期連結損益計算書の営業利益	2,125

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。